

群馬菱の実会だより

ゴルフ愛好会「第14回」例会 11月25日の結果

板倉ゴルフ場主催のなまずオープンに参加(菱の実会からは24人が参加)。例会としては初めて終日雨の中でプレー、特に後半フェアウエイは水溜まりで靴はグショグショ最悪のコンディション。ブ

レーヤの中には途中で帰る人もいましたが、そこは菱の実の皆さん大会に協力し全員がホールアウトしました。しかし大変なゴルフ日でした。

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	小野 昇	9 8	2 1	7 7
準優勝	石尾 延也	9 1	1 3	7 8
3位	大谷 菊寿	1 0 8	3 0	7 8
4位	松本 章	9 9	2 0	7 9
5位	滝 亀三郎	8 9	8	8 1

菱の実会・親睦旅行の会計報告

平成15年11月6日
群馬菱の実会 事務局

平成15年度 群馬菱の実会旅行 会計報告

10月22(水), 23日(木)に実施した『箱根めぐりと西伊豆戸田温泉』の旅行について、下記の通り会計報告をいたします。

1. 収入

(1) 参加費(会員分) @ 20,000 × 42人	840,000
(2) 組合・会社賛助金	80,000
合計	920,000

2. 支出

(1) バス代	283,500
(2) 有料道路代	24,570
(3) 乗務員費用	25,200
(4) 宿泊費	698,824
(5) 昼食代	150,780
(6) 入園料、乗り物代	96,750
(7) 旅行傷害保険・企画費等	50,465
(8) 労組・会社お土産代	2,800
(9) 車中飲み物代	56,711
(10) 写真代	1,256
(11) 群馬トラベルサービス	-89
合計	1,390,767

3. 不足額

不足額(差額) 470,767円については群馬菱の実会からの補助とします。

会員投稿 『華麗なるヨーロッパの旅 その4』 尾島町 関口 宏

帰路乗換駅のクライシャイデックで昼食、駅には、スイスの多くの家の庭でまわる、風車が売っていた、7枚の羽根に虹の7色を配している。ここでこの風車を買ったのが、運のつき、折りたたむことが出来ず、日本迄持ち歩く事になってしまった。インターラーケンに戻り、45分間の買い物後15時45分に出発、1時間で鉄道の駅ガンダスティーク到着、ここから、ツエルマットへ向かうのだが自動車が走れるトンネルが無い、迂回路を走ると所要時間が2時間30分かかる、ところが、この鉄道の貨車に乗ることで、僅か20キロのトンネルを15分で通過できる。ここは、車運搬専用鉄道で20キロの鉄道、ただ日本では考えられないのが、10両連結の貨車の最後尾から、乗客を降ろさず先から先へと貨車を渡り、詰めていく誠に危険極まりない、そして、車止めなど固定せずサイドブレーキのみだ。到着したのがテーシュ、ここからは一切のエンジン（排気ガス）車は、通行出来ない。標高1449メートルのテーシュからは電車しか無い15分でツエルマット、ここがこのコースの行き止まりの街（1620メートル）。先ず目に付いたのが、小型の電気自動車、手押し車だった。徒步10分程でホテル・クリスチャーニア、道端には色とりどりの花、鮮やかな花、どれもこれもが、日本に無い花、総てが高山植物。部屋は10畳二間位の大きさの真ん中にベットが二つ、トイレには便器が二つ？一つはビデ専用との事だった。ここ三階のベランダーからは、夢のような景色が広がっている。雲一つ無いマッターホルンが白く、赤く、目の前に輝き真上には三日月が乗っている。その後ろを飛行機が一本の雲線を引いて行く、こんな景色が22時まで続いた。翌日の朝も又、きらめいて姿をあらわしていた、ラッキーだ。早朝から街を散策した後、9時10分の登山電車で40分ゴルナーグラート（3,130メートル）へ到着。「天候は、雲一つ無い快晴」「マッターホルン4,478m」「クラインマッタホルン3,883m」「リスカム4,527m」「モンテロザ4,634m」ゴルナー氷河等360度のパノラマは、息がつまる程素晴らしい、今回の旅の中で一番感動した。帰りの登山電車の窓には、電車を降りる迄その尖った姿が消えなかった。ここからジュネーブ迄は、幾つかの湖の端を迂回、山又山を5時間30分余り17時30分到着、マレン湖での世界一の高さを誇る、大噴水。湖畔でのくつろぎののち、市内の観光と散策。

フランス ジュネーブのコルカバン駅からパリーのリヨン駅までTGV、フランス新幹線で3時間40分の旅。車内でのお弁当は、9日ぶりの日本食を味わった。リヨン駅からバスに乗換、ホテル・イビスピルト・ド・オルレアンに着いたのが24時だった。パリー市内観光が始まった。パリー市街の全体が、東京の山の手線の内側と同じ面積と聞いていた。先ずノートルダム寺院、パリーの発祥の地となった、セーヌ川の中津、ツテ島の中央にそびえる寺院、初期のゴシック建築の粹を集めた、最高傑作。ステンドグラスが素晴らしい。バスはセーヌ川に沿うように走り、コンコルド広場へ18世紀後半ルイ15世の騎馬像を飾るためにパリーの中心部に造ら



ローテンブルクの町（ドイツ）

れた広場。フランス革命時はここにギロチンが建ち、ルイ16世や妻であるマリー・アン・トワネット他千数百人が処刑された広場。オペラ座の内部は只、豪華絢爛につきる。このオペラ座とエッフェル塔は1889年パリ万博を記念して建てられたと言う。バスは50分も走りパリ郊外にあるベルサユ宮殿へ、ここはルイ14～16世時代の宮殿。雄大な庭園長さも一キロもあるうか、噴水、そこに設置された等身大の銅製の像、色々なポーズをとっていて、数え切れないほどある。宮殿内は、ヘラクレスの間、豊穣の女神の間、ヴィナスの間、ダイアナの間、マルスの間（寝室）、アポロの間（大座の間）、戦争の間、鏡の回廊（長さ73m・幅10.5m・高さ12.3m）この部屋の工事だけで8年を費やしたとある。平和の間、王妃の寝室、貴族の間、王妃の控えの間（会食の間）、王妃付き衛兵の間、祭典の間（旧王付き衛兵の間）、この間、見物客に押されて、流れる状態で55分かかったベルサユ宮殿を17時30分に出て18時20分ホテルへ。夜は、オプションではあるが、ムーラン・ルージュのショーを見ることにした。日本の国際劇場でのダンシング・チームのショーぐらいに思って、ホテルで買ったチケットが何と45,000円だった。ホテルでの送り迎え付き、会場に着き自分の席を探したら、何と「カブリツキ」だったテーブルの上には、お粗末な食事とビールとウイスキーと暗い明かりが置かれてる。いよいよ開演、頭上の照明が消された瞬間、舞台まで2メートルはあった空間に、舞台がせりでてきた、ティブルに当たった所で止まった。ショーの開演迄には、かなりのビールがかたずいていた。いきなり長い羽根を纏ったダンサーが数名飛び出してきて、3メートルもの先から足を伸ばしたまま尻を着いて、滑ってくる。ぴたりとテーブルの前で止まる、何度も次から次に後の人々が、舞台の上を滑り、走り、もう羽毛のほこりで、テーブルの上は真っ白になっていた。そろそろ、トイレの時間となって、行ったが大柄のおばさんが、入口で使用料を徴収している。小銭を渡して済ました、又30分位して行ったが同じ様に小銭、3度目には、とうとう食いついたが金を要求する。ショーに出演する女性（ダンサー）は、フランスの中から、よりすぐった美女ばかりとか。身長が、皆な揃っている、顔が小さい、体重まで揃えた感じだった。ショーは19時から0時20分まで、となっていた。翌日はフリー近くの地下鉄オルレアン駅から乗り途中の駅で乗り継いだが、分からなくなくなり片言の英語で何とか通じ、シャンゼリゼ駅へ到着。徒歩でシャンゼリゼ通り、マロニエの並木道（凱旋門からコンコルド広場まで2キロを一直線に貫くパリの目抜き通り。）散策。凱旋門は、数々の勝利をおさめたフランス軍をたたえ、ナポレオンの命によって建造。当時料金で、32フランでエレベーターに乗り屋上へ、パリ市街の建物は五階建以上の建物が無いので、太いシャンゼリゼ通りを軸に、放射状に、五本の道路が始まる。ここからは街全体が、一望できる。地上に降りると一階の中心部で、消える事のない火がともされている。この付近一帯は世界遺産との事。次にルーブル美術館に向かった。有名な大絵画、彫刻ロダンの考える人、レオナルドダビンチのモナリザ、見切れない数の多さ、閉館まで頑張った。パリから南へ120キロのところに、ロレール川がある。川幅は、セーヌ川より広く自然のまま、ライン川と同じく川岸に、中世の古城が点在する。中には川の真上に造られた城、城の真下を川は流れている、ここに行くまで、長い長いポプラ並木と、西洋庭園が続く。昼食はここ田舎町、二十軒もの家が点在する、白壁の二階にはプランターに葵の花が、白壁に鮮やかに映えていた。この庭先にテーブルと椅子が並べられ、近くに咲く名の知れぬ、花の香りが漂っていた。〈おわり〉

【誌面の都合により新人紹介は来月号に掲載させて頂きます】

1. 12月の囲碁愛好会

◎例会：12月8日(月) 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部

2. 12月の麻雀会

◎日時：12月19日(金) 10:30～17:00 ◎会場：赤城俱楽部

◎申込：12月16日(火)迄、長嶺(38-0685)、小此木(56-0512) ◎会費：2,000円

3. 第33回(秋季)グラウンドゴルフ大会(改めて申込み願います)

◎日時：12月15日(月) 9:30～ ◎会場：利根グラウンドゴルフ場

◎会費：500円 ◎申込：12月10日(水)迄に事務局へ

◎その他：小雨決行、雨天中止

4. 1月のパソコンサークル

◎日時：1月13日(火) 14:00～16:00

◎会場：労組事務所(ご希望の方はご自由にご参加ください)

5. 1月のカラオケ月例会

◎日時：1月13日(火) 17:30～20:30

◎会場：カラオケ本舗「まねきねこ」尾島町安養寺27-3 TEL:0276-52-3450

◎申込：愛好会役員(長嶺 元さん:TEL 0276-38-0685) 1月7日(水)まで

6. 次回の編集委員会・幹事会(会場：組合会議室)

◎編集委員会 12月22日(月) 11:00～

◎幹事会 1月13日(火) 16:00～

7. 今年もあります、年末特別社内分譲

恒例の年末特別社内分譲が12月11日(木)、12日(金)昼休みと定時後にゲストホテルで行われます、会員は現金販売のみが対象ですが、ぜひお出かけください。

新入会員のお知らせ(お願い：新入会員の方は紹介原稿をお願い致します)

小林 克也さん 妻沼町妻沼4421-6 平成15年9月20日退職

福島 晃さん 鴻巣市小松1-5-7 平成15年3月31日退職

長谷川 正男さん 境町保泉273-1 平成15年9月15日退職

篠崎 辰夫さん 深谷市田所町17-14 平成8年10月15日退職

編集後記 ◎今回は、この欄を借りて三菱電機ライフサービス(株)(旧菱電不動産(株))

群馬支店(以下、MDライフという)の1事業についてPRをさせていただきます。

◎このたび、MDライフでは尾島郵便局の西、ほていや旅館の隣にグループホーム「さるびあ」を開設し、11月1日より業務を始めました。

◎わが国でも介護保険制度が発足して3年目を迎えたものの、グループホームと聞いてもまだなじみのない人もいると思いますが、これは要介護認定を受けかつ痴呆症であると医師より認定された人が入所できる施設で、入居者どうし(介護職員がいますが)が主体的な日常生活を営む中で、少しでも痴呆性の進行を遅らせ、人間としての余生を過ごしてほしいとの願いからできた国の制度です。

◎もうちょっと詳しいことは、この封筒の中にPR版を同封しましたので、それをご覧いただくとともに、(皆さんまだ入所資格はないと思いますが…)折を見て一度見学などに寄ってみてください。

(下山 記)